



令和6年度 生活情報科 成果発表会 ▶▶ 2月9日(日) 西脇市市民交流施設オリナスホール

2025年2月27日発行



1・2年生笑顔で受付とホールの展示を担当しました。



校長あいさつ
村井 和幸 校長

<1年生>

・今回の成果発表を見て、先輩のすごさに改めて感心しました。消防服を使って製作していたことは知っていましたが、具体的にどんな風に工夫したとか、いろいろなことを学ぶことができました。昨年とは視点が違って、1年でたくさんのことを学ぶのだと思いました。

・私は受付で、聴覚障害の方を誘導しましたが、初めてのこともあってどうしたら良いのか分からず、コミュニケーションがとれませんでした。今回は手話ができる卒業生の方に助けられました。一人でコミュニケーションがとれるように、手話を学んだり、知識をつけたいと思いました。先輩方が残してくれた伝統をしっかり受け継ぎ頑張りたいです。

・私は記録係で、リハーサルから本番までずっと見ていて、先輩方がどんなことをしているのか知ることができました。ファッションショーやダンスでは、リーダーとなる先輩を中心に「もっとこうしたらいい」とか、一つ一つの確に意見を出して、もっと良いものになっていました。発表内容も、実際に実験してみたり、アンケートをとって調査したりと、どの班の発表も手が込んでいて、自分の中の学びに繋がりました。衣装を作った先輩方は、どの衣装もその人の個性がでるものばかりで、遠くからでもとても丁寧に作られていることが分かるぐらいのすごい出来だと思いました。

・成果発表には、たくさんの人が来ていてびっくりし、発表の中にも、地域から頼まれたものもあって、先輩方のおかげで、生活情報科が地域に広がっていて、私たちが先輩方が残してくれたものを繋げていきたいと思いました。発表や挨拶の時とか、舞台端で手話をしている先輩がとてまかつこよくて、すごいなと思いました。

・生情の発表会を見るのも、参加するのも今回が初めてだったのですが、想像以上に大規模で内容も多く、素晴らしい会だったと思いました。私は今回、展示を担当しました。今回初めて2年生の先輩と、お話ししたり協力しながら準備でき、とてもいい機会だったと思いました。展示の準備から片付け、販売、受付、記録、裏方などそれぞれの役割に責任をもってできていたから会場がとてもスムーズであったと感じました。先輩から後輩に繋ぐことって、すごく多いと思うのですが、裏から支える部分もあると思いました。やっぱり生情全員で一丸となってがんばっているのだなと身近に感じられました。

・グループ研究発表は、1つ1つの研究が本当に詳しくびっくりしました。消防服の活用では、燃焼実験の結果からの活用方法が、本当に研究者みたいな感じでした。他にも、 Cottonの糸紡ぎキットの開発とか、同じカレーでも季節ごとに変化のある工夫がすごかったです。学校外でも研究したり、実際にアンケートをとってデータをだしたりと、本当にぬかりなく、かついいと思いました。

・2年生の N.hs のブランドの提案についても、来年私たちがすることだと思って、真剣にみました。テーマの作り方が海外のものや日本のものとを組み合わせたり、トレンドも考えたりしてすごかったです。やっぱり、情報をいろんなところにはりめぐらせるのは大切だと思いました。

・一番心に残ったのは、ファッションショーです。私はリハーサルでは、ステージの近くで見て、本番は一番後ろから見ました。近くで見たときは、先輩方の顔や服の動きが細かく見えて気づくことが多かったです。(略)舞台での色や演出、細かい動きも遠くまで伝わってきて、全体を見た時に、一つの舞台芸術として感銘を受けました。スモークや映像、動きの演出もすべて考えたと思うと、尊敬しました。それに、衣装の製作も細かいところまできれいで、被服室に通っていた先輩たちの努力が見えました。リハも本番も感動せずにはいられませんでした。服飾選択の先輩の自分の好きを表現した衣装が素敵でした。

まずは、体育祭パフォーマンス優勝3-6の演技。丸岡さんの開会のことばに続き、校長先生、生徒実行委員長 金田さんの挨拶から始まりました。手話の指導にはいつも76回生森本菜さんにSOS! ありがとうございます。会場は、約400人の観客でいっぱいでした。

<グループ研究発表>

消防服×SDGS

北播磨消防署より、廃棄される防火服の活用の提案をいただきました。アラミド繊維や性能、防火服の特質等教えていただき、布地に合った商品開発を行いました。

播州織ファッションショーが育む豊かな心

ファッションショーにでたいキッズモデルの気持ちや、参加させたい親の気持ち、そして参加した後の感想をまとめ、ショーのあり方を検討し、その意義を改めて見直すことができました。



綿から紡ぐ文化の伝承と地域への愛着

先輩から引き継ぎ、毎年365 Cotton活動に参加し、地域の方と綿づくりを通して交流を行ってきました。今回、綿の種類と糸の紡ぎやすさを燃りの角度から実験しました。繊維工業センター所長中野様に指導をいただき、京都テルサホールで行われた繊維学会で発表しました。高く評価されたと聞いて、これからも自信をもって活動を繋げていってほしいです。



課題研究「食物」

梅吉亭一日シェフやコンテストに参加してきました。研究発表では、地元黒田庄牛を使ったカレーの提案を行いました。地産地消で四季折々のカレーメニューを考え、今後のイベントで提案していきたいです。

先輩から受け継いできた「金ゴマクッキー」もイベント毎に好評で、パウンドケーキと共に販売を行ってきました。



「一人一人が人生の主人公に」 〜車いすウエディング〜

車いすを高くしたり、ドレスの装着の配慮やデザインの工夫をし、完成しました。



課題研究「福祉」

社会福祉協議会連携し、本年度も要約筆記、点訳絵本作成、手話など行ってきました。今年は給食サービスのお手伝いや子どもファッションショーの衣装づくりも行いました。

N.hs(西脇高校ブランド)

2年生による来年度のコンセプトの発表。毎年レベルアップし、高評価をいただきました。

<2年生>

・今回の成果発表会も、たくさんの方に来ていただいたり、OBの方にも見に来てもらえたのは、3年生の人柄もそうだし、生活情報科のつながりや頑張りがあるこそだと、改めて思いました。たくさんの方に応援されている3年生を本当に尊敬します。そして、私たちが3年生のようにみんなで協力できるクラスになりたいです。そして、応援される人になりたいです。

・私は舞台裏で、初めて裏方の先輩方を見て、大変でとても重大な役割をしていることを知りました。パソコンが動かなかったり、順番が変わっているなどのトラブルに対応し、自分の出番前でも、舞台のことをぎりぎりまで作業する先輩に感動しました。

・どの先輩も放課後遅くまで残って、休みの日にも学校に来て毎日毎日服作りをしている努力、人間性を見習っていきべきだし、課題だけでなく日ごろの挨拶や相手に対する思いやり、常に周りを見て行動するなどの伝統、人間性などしっかり受け継いで繋いでいきたいと思いました。

・今回モデルで出させてもらいました。練習から本番までがとても短くて、ハードスケジュールでした。リーダーはみんなの顔を見て髪型を選んだり、ファスナーが壊れていたり、サイズが大きすぎたりしたら、すぐに衣装直して、嫌がることもなく、自分から進んですぐに行動できる先輩がとてまかつこよかったです。発表会が終わった後の楽屋の掃除もとても丁寧で、私も、全てに全力で行動できる人になろうと思いました。

・研究発表を見た母が、「高校生であんなことをしているのはスゴイ!」、「車いすウエディングドレス、とても素敵だった!」などととても褒めていて、私がしたことではないけれど、すごく誇らしくなって、「私の先輩すごいやろ!」って言ってしまいました。

・ステージの上でも、やっぱり「笑顔」の力はすごいです。見ているこっちまで笑顔になります。

・衣装もどれもすごく、特に個人作品では、どれが選ばれてもおかしくないと思いました。

・今回の成果発表を通して、先輩が作り上げてきたことを崩さずにしっかりとバトンを受け取らないといけないなと思いました。生情という素敵な環境で、いろいろな課題に一生懸命に取り組める3年生になりたいです。



課題研究「服飾」

西協チェック・・・11月最終投票で決定

デニムと組み合わせて、カジュアルな洋服を提案しました。



遠孫職布 職人さんの技術から生まれたテキスタイルデザインを使ってルナ(月)とソレイユ(太陽)をイメージした衣装を製作しました。



LGBTQ 徳平さんがシンボルカラーを使ってデザインしたストール。繊維工業センターで織っていただき、衣装を製作しました。



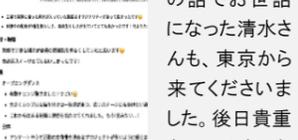
加東市ゆかりの「義経」の衣装

スモッキングや布を織ったり工夫し、兜もすべて播州織で表現しました。プルタブを金色にスプレーして一つずつ縫い付けました。



本日お越しの卒業生の皆様

宮田先生・常深先生・中山先生にも来ていただき、懐かしい卒業生の写真撮影・・・31人。高橋先生監修エンディングで流しました。



昨年の卒業生の話でお世話になった清水さんも、東京から来てくださいました。後日貴重なコメントをいただきました。



今回の生活情報科成果発表会は、生活情報科の取り組みを、地域の方、卒業生、ご家族に見ていただけるように休日実施いたしました。先輩から引き継ぎ繋いできた生活情報科を、より多くの方に見ていただき、これからも地域に支えられ、成長していけたらと思います。

本年度は、11回の播州織ファッションショーを行いました。For meではなく、For you・・・ファッションショーのシーンつまとめるためにも、個人の意見を尊重しながら、協調性をもって折り合いをつけ、一つのことを創りあげていきました。我儘・自分勝手・自分さえよければ・・・はなく、全体を考えながら友達を思いやり、それができる生徒たちです。

最後のオリジナル作品は、自分の“個性”を厳しい環境の中から創りだしました。ゼロからデザインし、布地を選んでディテールを作っていく・・・そこに一人ひとりの想い、好き、ファッションセンスがいっぱい詰まっています。それぞれが、自分らしく納得のいくものばかりでした。もっと時間をとってじっくりとゆっくり発表させたかったです。

課題研究「食物」短期間に協力し、それぞれのアイデアを出し合ってまとめることができました。課題研究「福祉」による手話通訳は、ぎりぎり出来上がった原稿も一日で覚えてきて・・・感動しました。何事にもみんなで頑張った3年間は、素敵な思い出でいっぱいですね。共に築いてきた仲間は宝物です。これからも大切にしていってください。



来場者アンケートより

- ・前回のファッションショー、今までの生情のファッションショーを超えるレベルで頑張りを感しました。衣装のデザイン、縫製も丁寧で見ごたえがありとても素晴らしいと思いました。
- ・自分たちの時以上の活動があつて感動しました。もっともっと次の代へつなげてほしいと思います。
- ・一人ひとりの個性があふれた衣装ばかりでとても感動しました。
- ・ファッションショーをされている姿に憧れました。受験で毎日忙しいのですが、成果発表会に参加しよう少しの辛抱でがんばろうと勇気をもらいました。第1志望は生活情報科です。
- ・何点もとても丁寧に作られており、服だけでなくアイテムを利用して作品を最大限に魅せられていました。感動しました。ありがとうございました。
- ・いろんなジャンルの服を作っていてすごいと思いました。自分を表現するための服の発想が面白くて、かわいいと思いました。
- ・初めて見たファッションショーがこの生活情報科の成果発表でよかったなと思いました。服装を通じて自分の個性を表現されていた皆さんがカッコよくていつまでも見ていたいなと思いました。素敵な時間をありがとうございました。
- ・初めて見させていただきました。見ごたえあるステージで驚きました。お疲れさまでした。
- ・生情の活動を本当に楽しんでいるのが伝わってきました。
- ・いろいろ研究しておられて感動しました。ファッションショーもすごいデザイン見せてもらえてよかったです。
- ・3年間の成果を思う存分発揮していた発表会でした。アイデア、バイタリティ、そして熱量の高さに感動しました。皆さんの頑張りに心から拍手を送ります。本当にお疲れさまでした。横山尚司
- ・ドレス衣装のクオリティーがすごかった。
- ・三年生の卒業制作のファッションショーで細かい部分までこだわっているのが伝わってきた。
- ・クラスで一致団結していて心から感動した。
- ・生情の取り組みはすごく、西協にとどまらず、もっと広く発信できることを信じている。
- ・3年間の苦勞、頑張りが3-6色としてとても素晴らしく感動しなかったです。これからもずっと生情の頑張りがたくさんの人に届き、感動を与え続けてほしいです。
- ・播州織を活かしていてとてもすごいなと思いました。生活情報科に入りたいと思いました！！
- ・とても感動的な成果発表会でした。若いエネルギーを全力で注ぎこんだのだなと感じました。
- ・生活情報科の卒業生でよかったと思いました。自分たちよりレベルが高くチームワークを感じました。表現力のカタチを学べました。
- ・ファッションショーも発表もとてもよかったです。次回もまたみたいです。感動をありがとうございました。
- ・全部素晴らしいです。若い力は素敵ですね、皆さん輝いていました。これからも期待しています。
- ・全てにおいて完成度が高く、コンセプト・工夫点を深く考え、表現・実物化する技術力を磨いていることに感心しました。最後はみんな感動の涙でした。
- ・わたしも卒業生なんです。娘が入ってくれて良かったです。感動しました。ずっと続きますように。
- ・車いすウエディングの発想に感動しました。
- ・衣、食、どちらも一生関わっていくことなので、さまざまな方面から学ぶことがすごいと思った。
- ・カレーのネーミングセンスから味を見事に言語化されていてよかった。食物の発表が特に印象に残りました。
- ・素敵な発表会をありがとうございます。LGBTQのデザインが特に印象的で欲しい生地です。
- ・食物、福祉、服飾それぞれレベルが高い課題研究ですごく良かったです。服飾デザイン卒業作品すごく感動しました。